

国立印刷局ネットワークシステムの業務・システム最適化計画

2008年(平成20年)3月6日

2012年(平成24年)3月26日改定

独立行政法人国立印刷局

1 業務・システムの概要

独立行政法人国立印刷局(以下「国立印刷局」という。)は、「行政情報化推進基本計画」(平成6年12月25日閣議決定)を踏まえ、事務処理の合理化・効率化を図るため、国立印刷局ネットワークシステム(以下「印刷局ネットワーク」という。)を、平成10年度から平成12年度にかけて、国立印刷局におけるネットワークインフラとして構築した。

印刷局ネットワークの構築以降は、システム構成について情報セキュリティを確保するための強化策を実施するとともに、経費削減を目的として、各種サーバの統合、WAN回線の見直し、基本アプリケーションソフトウェアの統一化等を実施してきている。

平成19年2月には、最適化計画策定のために監査法人によるシステム監査を実施し、「機能・構成の技術面については、効率性・有効性は極めて高い。」、「管理・運用面の信頼性・安全性・効率性・有効性は概ね適正である。」、「調達コスト面における経済性は高い。」との評価を受けた。

特に、調達コスト面の経済性については、「サーバの統廃合、ソフトウェアの標準化など、ITコスト削減の主な手法は既に実施し大きな成果を収めてきた。」と評価され、また、この評価を前提に、今後の課題として、「経済性を考慮したシステム構成の見直し」、「ライフサイクルコストを考慮した調達方法の見直し」、「運用管理手順の整備」等についての改善提案を受けた。

印刷局ネットワークの機能及び最適化の基本理念は、以下のとおりである。

(1) 印刷局ネットワークの機能

イ グループウェア機能

情報伝達の円滑化及び情報の共有化のために、電子メール及び電子掲示板の機能を提供している。

ロ ファイル共有機能

業務遂行上必要な各種情報の共有化のために、各部門ごとのファイル共有機能を提供している。

ハ 各業務システムの接続

各種業務システムの効率的な運用を図るために、各種業務システム用サーバを接続し、ネットワーク基盤としての機能を提供している。

ニ インターネット及び霞が関WANへの接続

業務上必要な情報収集を行うために、インターネット接続機能を提供している。

また、各府省庁と情報交換を行うために、霞が関WANと接続している。

(2) 最適化の基本理念

印刷局ネットワークに関する業務・システムの最適化に当たっては、システムの安全性・信頼性の確保を前提として、効率的・効果的なシステム資源の整備及び運用管理の業務効率化を基本理念とする。

2 最適化の実施内容

印刷局ネットワークについては、以下のとおり最適化を実施する。

(1) システム構成の見直し

イ 安価な機器への買換え【平成20年度実施済み】

ネットワーク機器の経費削減を図るため、各機関間のファイアウォールについて、セキュリティレベル及び業務システム機能を低下させることなく、安価な機器への買換えを実施した。

ロ ITの新技术の導入

ITの新技术について、最新技術動向及び市場動向を見ながら、導入について検討した。今後は、平成24年度以降の機器更新時期に合わせて、Windows 7を導入する。また、他のハードウェア及びソフトウェアについても、保守の終了に合わせて、計画的に更新を実施する。

さらに、IPv6については、今後の印刷局ネットワークの効率的・効果的なネットワーク管理を行うため、統一的なアドレス体系の導入について検討した。今後は、IPv4枯渇の影響を受ける外部接続箇所について、IPv6の導入を進める。

ハ サイバー攻撃等への対応

サイバー攻撃や大規模災害（地震、火災等）等による印刷局ネットワークへの被害を防止するとともに、印刷局ネットワークの機能が停止した場合に、復旧までの時間を最小限にするため、システム構成や運用方法について見直しを行う。

(2) 調達方法の見直し

イ 仕様書の標準化・定型化【平成20年度実施済み】

情報システムの調達について透明性・公平性を確保するため、印刷局ネットワーク関係の調達における運用及び保守の調達仕様書を標準化・定型化し、利用を開始した。

ロ 複数年契約の実施

業務の効率化を図るため、ライフサイクルコストを考慮した複数年契約を必要に応じて実施する。

ハ 公共サービス改革基本方針に基づく民間競争入札の実施

印刷局ネットワークの運用支援作業について、公共サービス改革基本方針（平成23年7月15日改定閣議決定）に基づく民間競争入札を実施する。

(3) 運用管理手順の整備等

印刷局ネットワークの安定運用を図り、かつ、迅速に障害対応するため、通常時及び障害時の作業手順を標準化するとともに、各種ドキュメントを整理し、運用管理手順書として整備した。【平成21年度実施済み】

今後は、印刷局ネットワーク利用者の利便性を向上するため、国立印刷局業務ポータルサイト（局内Web）を改善する。

3 最適化による効果

印刷局ネットワークについては、独立行政法人化以降平成19年度までに実施した経費削減の取組により、年間約1億円の経費削減を達成した。また、平成20年度以降現在までに実施した最適化の取組により、年間約1千万円の経費削減及び年間約300時間の業務処理時間の削減を達成した。

今後の最適化による効果としては、システムの安定稼働の確保、安全性の確保及び利便性の向上が見込まれる。

4 最適化工程表

別添1「最適化工程表」のとおり。

なお、本最適化計画は、今後の国立印刷局を取り巻く外部環境の変化やそれに伴う業務活動の変化等を踏まえ、必要に応じ、見直しを行うものとする。

5 現行体系及び将来体系

別添2「業務説明書」のとおり。

最適化工程表

項目	年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
最適化計画策定		策定				改定			
1 システム構成の見直し			見積調査 性能調査 調達準備	実施					
・「各機関間ファイアウォール」の見直し									
・「Windows 7」			動作検証 導入計画 導入準備	機器更新時期に合わせて実施 (Windows XPの導入)		動作検証 導入計画 導入準備	機器更新時期に合わせて実施		運用
・「IPv6」				技術動向を踏まえ、 導入を検討			導入計画 導入準備	実施	運用
・サイバー攻撃等への対応						内容検討 企画立案		実施	
2 調達方法の見直し			標準様式 の整備	実施					
・調達仕様書等の標準化・ 定形化									
・複数年契約									実施
・公共サービス改革基本方針 に基づく民間競争入札							実施		運用
3 運用管理手順の整備									
・運用管理手順書の整備			作業手順 の検討	手順書の 作成					運用
・「局内Web」の改善							内容検討 企画立案 設計	データ 作成	運用
最適化計画の実績評価					一次 評価				実績 評価